



ご注意ください

火災多発中

YouTube配信中!!



住宅  
防火

# いのちを守る10のポイント

4つの習慣

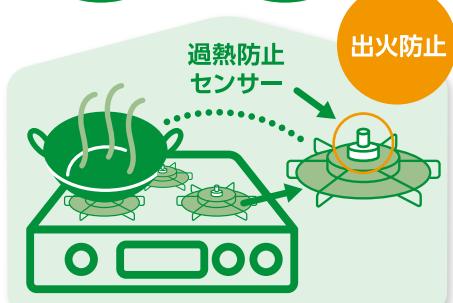


1 寝たばこは  
絶対にしない、  
させない

3 こんろを使うときは  
火のそばを  
離れない

4 コンセントはほこりを清掃し、  
不必要的プラグは抜く

6つの対策



1 火災の発生を防ぐために、  
ストーブやこんろ等は  
安全装置の付いた機器を使用する



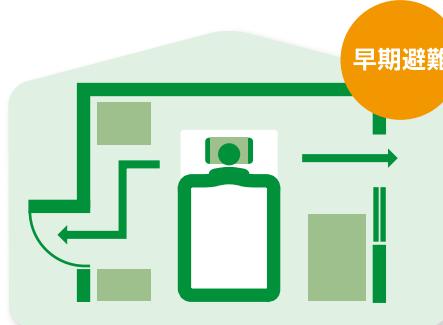
2 火災の早期発見のために、  
住宅用火災警報器を定期的に点検し、  
10年を目安に交換する



3 火災の拡大を防ぐために、  
部屋を整理整頓し、  
寝具、衣類及びカーテンは、  
防炎品を使用する



4 火災を小さいうちに消すために、  
消火器等を設置し、  
使い方を確認しておく



5 お年寄りや身体の不自由な人は、  
避難経路と避難方法を常に確保し、  
備えておく



6 防火防災訓練への参加、  
戸別訪問などにより、  
地域ぐるみの防火対策を行う

# 忘れていませんか？ ご自宅の住宅用火災警報器を点検しましょう！

## 定期的に作動確認をしましょう



住宅用火災警報器が故障していないか、定期的に作動確認しましょう。テストはボタンを押したり、ひもを引いて点検できます。  
(方法は機種によって異なります。)

## 10年を目安に交換をしましょう



住宅用火災警報器は、古くなると電子部品の寿命や電池切れなどで、火災感知しなくなることがあります。  
10年を目安に交換しましょう。

## 連動型住宅用火災警報器をおすすめします



通常の住宅用火災警報器と違い、連動した全ての感知器が一斉に作動するので、より早く火災発生を知ることができます。交換の際には連動型住宅用火災警報器をおすすめします。  
※連動型住宅用火災警報器は義務設置ではありません。